



キラリ☆ 川北中

川北中学校 学校だより

自立 創造 仁智

発行者 川北町立川北中学校長 田中 守

平成31年3月22日 第14号

卒業証書授与式

2019/3/9

多数の来賓、保護者、教職員そして1、2年生が見守る中、盛大に卒業式を行うことができました。これも、1、2年生が晴れ舞台の大切さを理解して、裏方に徹して、練習、準備をしてきたお陰です。

3年生は、14日に公立高校の合格発表があり、全員の進路先が決定しました。難関突破できたのは、1年生の頃からコツコツ積み上げてきた学力と人間力の賜物であると思っています。結果的には、第1志望に叶わなかった人もいましたが、これまでの努力は決して無駄になることはありません。これから先どこかで花開くことを信じています。

式辞で紹介した長谷部誠選手の言葉は、大人にとっても常に意識しなければいけないことです。川北中の仁智・創造・自立の精神にも当てはめて、本校の善さを、さらに熟成させ、一人一人の成長につなげていけたらと思っています。4月に入って金沢ケーブル35chで放映予定



式辞（一部抜粋；卒業生へ贈る言葉）

さて、2018年には、サッカーワールドカップがロシアで開催されました。本戦直前に、監督が交代して、前評判は決して良いものではありませんでしたが、コロンビアに勝ちました。予選リーグ最終のポーランド戦、負けていたにもかかわらず、他会場のスコアを見て、最後の10分、大ブーイングの中、攻撃をやめボール回しをしました。西野監督のリスク承知の大胆采配でしたが、無事予選2位通過を決めました。

そして、決勝トーナメントのベルギー戦、後半23分まで、2対0でリード、誰もしが、勝利を確信しましたが、相手の途中交代の選手にゴールを決められ、アディショナルタイムで、わずか14秒間の高速カウンターを受けて負けてしまいました。

その試合後、キャプテンの長谷部選手は、8年前の決勝トーナメント1回戦のPK戦で負けたパラグアイ戦と比較して、次のように答えています。8年前は、かなり守備的にやっていたのですが、今日は、自分たちは絶対に受け身にならず、守備でも自分たちからアクションを起こしてやっていこうと話していました。勇気を持って行えた部分があったので、8年前より戦えたという手応えがあります。

みなさんの卒業にあたり、この長谷部誠選手の言葉を贈りたいと思います。

それは、「監督や人のせいにするのは簡単ではあるが、そこはかえられないもの。だったら、自分が変わる方が早かったりする。」という言葉です。長谷部選手は、このような考えで、日本代表のキャプテンとして、ドイツブンデスリーガでも長年活躍して来たのだと思います。現在は、フランクフルトでキャプテン。

川北子どもサミット

2019/2/28



子どもサミットの収録がありました。小川君の司会のもと、川北中は、寅松さんが「新町図書館」、尻田君が「町多目的グラウンド」の提言をしました。小学生も、川北町の良さを生かした夢のテーマパークプランを紹介しました。実現が待ち遠しいですね。3/30～金沢ケーブル35chで放映予定

新入生仮入学

2019/3/18

新入生を1年生の英語の授業に招待しての学校紹介、さらに2年生からは、校歌の披露、指導を行いました。新入生、在校生ともに充実の2時間で、入学式が楽しみになってきました。

